



# 木曽川下流自然観察会

<http://owari.eco.coocan.jp/kisogawa.html>

日時 2021年5月9日(日) 9:30~12:00 (晴 | 雨)

参加者 一般：2名

指導員：3名

## テーマ 「夏鳥は来たかな！」

新緑が映え、野外活動に快適な季節です。5月12日から愛知県にも新型コロナウイルスの緊急事態宣言が発出されるというのに、公園には若い親子連れの姿が目立ちました。

夏鳥が渡来し、野鳥たちが子育て真最中のこの時期、5月10日から16日までは愛鳥週間(バードウィーク)です。そこで今回のテーマは夏鳥。

まずは管理棟の外壁に営巣しているツバメを見ました。4羽のヒナがまもなく巣立ちしそうな様子でした。カラスなどの天敵対を避け人の近くに営巣していますが、餌を運んできた親鳥は巣の下を人が通ると、少し離れた所で待機していました。

南派川岸辺のヨシとヤナギが繁った辺りからはオオヨシキリの「ギョギョシ、ギョギョシ」という賑やかな鳴き声が響いていました。

川原でこの声を聞いていた頃から空が急に暗くなり、あわてて公園の樹木がある方に移動したら、土砂降りの雨に見舞われました。一時的に建物内に避難しましたが、すぐに雲が去ってくれました。

野鳥園の林の中からはキビタキの美しい囀りが聞かれましたが、期待していたオオルリやセンダイムシクイに出会うことはできませんでした。

堤防道路の法面を下見した時(5/3)には外来種のアサギアザミやヒサウチソウの花が見られたのですが、その後草刈りが実施されたため消失していましたが、別の場所でヤセウツボの花が見られました。

大野極楽寺公園ではミヤマウグイスカグラが赤く熟し、ハクウンボクやオオカワヂシャの花は既に満開を過ぎて終わりかけでした。今季はいろいろな花が早かったようですね。

そういえば、園内の水路に生えていた水草を以前ヘラオモダカと紹介しましたが、花が咲いて再確認したところ、外来種のナガバオモダカと分かりました。(報告：齋竹)

### <その他観察できたもの>

鳥：チョウゲンボウ、トビ、メジロ、ヒヨドリ、ムクドリ、スズメ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、キジバト、ウグイス(声)、コゲラ(声)、シジュウカラ(声) 昆虫：シオカラトンボ、ハラビロトンボ、モンシロチョウ、キタキチョウ、ナミアゲハ、ツマグロヒョウモン、ベニシジミ、ヒメウラナミジャノメ 花：フタナ、ヒメフタナ、チチコグサ、ウラジロチチコグサ、ハルジオン、ヤブタバコ、アオオニタビラコ、アカオニタビラコ、ヤブタバコ、コウリナ、ニホンタンポポ、コメツブツメクサ、コメツブウマゴヤシ、シロツメクサ、ベニバナツメクサ、コマツヨイグサ、ミナトマツヨイブサ、メキシコマンネングサ、ツルマンネングサ、ヘラオオバコ、ツボミオオバコ、オオバコ、ニワゼキショウ、オオニワゼキショウ、セッカニワゼキショウ、ヒナギキョウ、オオイヌノフグリ、ムラサキサギゴケ、スイカズラ、マユミ、エゴノキ



(ヤセウツボの花を観察)



ヤセウツボの花



ミヤマウグイスカグラの実



ハクウンボクの花



ナガバオモダカの花